

リチウムイオン電池による火災防止月間です

☎ 環境生活課 環境生活係 ☎096(232)2114

リチウムイオン電池は小型で軽量、エネルギー効率が高いなどのさまざまな理由から多くの製品に使われています。しかし近年、リチウムイオン電池が原因の火災が増えており、大きな問題となっています。

リチウムイオン電池が原因の火災の発生状況

リチウムイオン電池の排出量も年々増加している中、令和5年度は全国でリチウムイオン電池が原因の火災が8,543件発生しています。

菊池地域でも今年度に、不燃物に混入していたリチウムイオン電池が原因で白煙が上がり、火種を確認した事例があります。

リチウムイオン電池を正しく分別せずに、ごみとして出してしまったことで火災が発生した場合、機械設備、建物などが損傷し工場の運転などを止めざるを得なくなり、最悪の場合、町民の皆さんが出す家庭ごみの収集ができなくなってしまいます。

このような事態にならないためにもリチウムイオン電池の適切な分別を改めてお願いします。



過去にクリーンの森合志で火災が発生した様子



環境省リチウムイオン電池啓発キャラクター「ためも」

©環境省

リチウムイオン電池等の分別方法

町では4月より、リチウムイオン電池などの充電電池や、電池類が取り外せない充電式の小型家電製品を「特定品目(電池類)」として収集しています。

膨張したリチウムイオン電池も収集していますが、夏場の気温が高い日など発火の恐れがある場合は日陰に出してもらるか、涼しい気温になってから出してください。

なお、環境美化センターでの受け入れも可能ですので、適切な分別にご協力をお願いします。

収集日・出し方の注意など

詳しくは配布したごみカレンダーや町ホームページに詳しく記載しています。

※右記QRコードから確認できます。



詳しくはこちら



環境省リチウムイオン電池啓発キャラクター「便利で危険なLiBOT」

©環境省

電池類と電池類が取り外せない小型家電製品の品目例

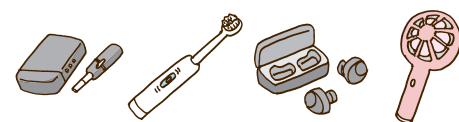
電池類

乾電池、ボタン電池、コイン電池、リチウムイオン電池(充電式)、モバイルバッテリー、電動アシスト自転車用バッテリー、ポータブル電源



電池類が取り外せない小型家電製品

電子たばこ、加熱式たばこ、電気シェーバー、電動歯ブラシ、バッテリーが外せない掃除機、ワイヤレスイヤホン、ハンディ扇風機



環境省リチウムイオン電池啓発キャラクター「リチウム蓄電池の疾走」

©環境省

楽しく防災を学び体験する!

10月5日、町総合体育館周辺できくよう防災フェスタ2025を開催しました。会場では、ヘリコプターやはしご車などの災害時に役立つ装備品の展示のほか、VR体験、防災気象実験、災害伝言ダイヤル体験、AED救命講習など、多彩な催しを行いました。来場者は、実際に体験しながら防災について学びました。



- 1 真剣に心肺蘇生を行う親子
- 2 作業工作車の展示
- 3 地域女性の会および防災ボランティアすぎなみの皆さんによる炊き出し訓練で200人においしい豚汁を提供
- 4 VRの世界を体験する
- 5 一生懸命にボタンを押す子ども
- 6 シミュレーターによる自転車の安全運転コーナー
- 7 災害伝言ダイヤルを体験する親子
- 8 パトカーと一緒に写真を撮る親子



ファッションモデルで実業家の小野千恵子さんが「大切な家族を守る! ペット防災のはじめの一步」と題して、ペット防災について講演しました。小野さんは災害時にペットと一緒に避難できるようにケージを購入する、ペットがケージの中に入ることを怖がらないように日常的にケージに入れるように訓練することなど、日頃から準備する大切さを訴えました。講演後はもっこすファイヤーさんや吉本町長とフリートークもあり、和やかな雰囲気になりました。

小野千恵子さんミニ講演

おのちえこ